

特記仕様書

香芝市都市創造部都市計画課

業 務 名 香芝市 3 D都市モデル整備業務
業務場所 香芝市全域
履行期限 契約日から令和 8 年 3 月 2 7 日まで

第 1 章 総則

(適用範囲)

第 1 条 本特記仕様書（以下「仕様書」という。）は、香芝市（以下「発注者」という。）が委託する香芝市 3 D都市モデル整備業務（以下「本業務」という。）に適用する。

(準拠法令等)

第 2 条 本業務は、本仕様書によるほか、業務発注時点における最新の次に掲げる法令等（以下「準拠法令」という。）に基づき実施するものとする。

- (1) 測量法（昭和 2 4 年法律第 1 8 8 号）
- (2) 測量法施行令（昭和 2 4 年政令法律第 3 2 2 号）
- (3) 測量法施行規則（昭和 2 4 年建設省令第 1 6 号）
- (4) 都市計画法（昭和 4 3 年法律第 1 0 0 号）
- (5) 都市計画法施行令（昭和 4 4 年政令第 1 5 8 号）
- (6) 都市計画法施行規則（昭和 4 4 年建設省令第 4 9 号）
- (7) 地理空間情報活用推進基本法（平成 1 9 年法律第 6 3 号）
- (8) 地理情報標準プロファイル（J P G I S）2 0 1 4
- (9) 測量法第 3 4 条により定める作業規程の準則（国土地理院）
- (10) 香芝市公共測量作業規程
- (11) 3 D都市モデル標準製品仕様書
- (12) 3 D都市モデル標準作業手順書
- (13) 3 D都市モデルの導入ガイダンス
- (14) 3 D都市モデル整備のための測量マニュアル
- (15) 3 D都市モデルを活用した災害リスク情報の可視化マニュアル
- (16) その他関係法令等

2 業務発注後に準拠法令に改正等があったときは、発注者と受注者との協議により、対応を決めるものとする。

(疑義)

第3条 受注者は、本仕様書に記載のない事項又は疑義が生じたときは、発注者と協議するものとする。

(提出書類)

第4条 受注者は、契約締結後、速やかに発注者に次に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 着手届
- (2) 工程表
- (3) 主任技術者等通知書（経歴書及び資格証の写し並びに直接雇用を証明する書類）
- (4) 業務計画書
- (5) その他発注者が必要と認める書類

2 前項の規定により提出した書類の内容を変更するときは、変更の理由を明確にした上、その都度、発注者に変更後の書類を提出しなければならない。

(秘密の保持)

第5条 受注者は、本業務を実施する過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。また、この契約が終了又は解除された後においても同様とする。

(配置予定技術者)

第6条 本業務を担当する配置予定技術者は、次の技術者区分ごとの資格要件及び実績要件を満たす者とする。この場合において、次の技術者は、受注者と直接的かつ恒常的な雇用契約を締結しているものとする。

技術者区分	資格要件	実績要件（過去5年以内）
主任技術者	測量士	3D都市モデルに関連する業務又は都市計画基本図作成業務の実績を有する者
照査技術者	次のいずれかの資格を保有する者 ・空間情報総括管理技術者 ・地理情報標準認定資格（上級） ・技術士建設部門（都市及び地方計画）	3D都市モデルに関連する業務又は都市計画基本図作成業務の実績を有する者
担当技術者	測量士	3D都市モデルに関連する業務又は都市計画基本図作成業務の実績を有する者

(打合せ等)

第7条 受注者は、本業務期間中、発注者と常に密接な連絡を取り、業務の方針、条件等の疑義を正すものとし、その内容については、その都度、受注者が書面（打合せ記録簿）に記録し、相互に確認しなければならない。

(成果品の帰属)

第8条 本業務の成果品については、全て発注者に帰属するものとし、受注者は、発注者の許可なく成果品を複製、貸与、流用及び廃棄してはならない。また、受注者が成果品に関する著作権等を有する場合においても、発注者があらかじめ指定したのに対してこれを行使しないものとする。

(損害賠償)

第9条 受注者は、本業務遂行中に発注者又は第三者に損害を与えた場合は、発生原因、経過、被害等の状況を発注者に速やかに報告するものとする。この場合において、受注者は、自らの責任において処理し、解決するものとし、これに要する費用は、全て受注者の負担とする。

(不備訂正)

第10条 受注者は、本業務において不備が生じた場合は、直ちに訂正するものとし、納品後に仕様書、準拠法令若しくは協議にて決定し、若しくは変更した事項に反した作業が行われたと認められた場合又は受注者の故意若しくは過失により不適格な成果品が発見された場合には、受注者が再度作業を行い訂正するものとする。この場合において、当該訂正に要する費用は、全て受注者の負担とする。

(品質確保)

第11条 受注者は、本業務における成果品の品質を確保するため、ISO9001に準拠した品質マネジメントシステムを構築するとともに、本業務の各工程において品質マネジメントシステムに基づく照査を行い、成果品の品質を確保するものとする。

2 受注者は、本業務完了後であっても、成果品に誤り等が発見されたときは、速やかに発注者に報告し、自らの責任において当該誤り等を修正しなければならない。

(情報保護)

第12条 受注者は、本業務において発注者の情報資産を取り扱うことから、ISO/IEC27001（ISMS）及びJISQ15001（PMS）に準拠した情報セキュリティマネジメントシステムを構築した上で業務を実施するものとする。

2 受注者は、貸与資料及び成果品に含まれる個人情報の取扱いについて、情報セ

セキュリティマネジメントシステムに基づき、情報漏えい等がないように対策を講じるものとする。

（関係官公庁への手続）

第13条 受注者は、発注者が行う本業務の実施に必要な次に掲げる公共測量その他の関係官公庁への申請等の諸手続の際に補助を行うものとする。

- (1) 公共測量作業規程の承認申請書又は変更承認申請書（測量法第33条）
- (2) 公共測量実施計画書（測量法第36条）
- (3) 測量標、測量成果の使用承認申請書（測量法第26条及び第30条）
- (4) 前3号に定めるものの他、必要な手続

（貸与資料）

第14条 発注者は、受注者に次に掲げる資料を貸与するものとする。この場合において、受注者は、発注者に借用書を提出するものとし、資料等の取扱い及び保管に当たっては、損傷、紛失等のないように十分注意するとともに、これを他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。

- (1) 航空写真測量成果（令和6年12月時点）
- (2) 数値地形図データ（都市計画基本図）（DM形式、地図情報レベル2500）
- (3) 都市計画決定図書（都市計画用途地域、地区計画図等）
- (4) 都市計画決定情報データ（シェープファイル）
- (5) 都市計画基礎調査データ（シェープファイル）
- (6) 浸水想定区域警戒区域データ（シェープファイル）
- (7) その他発注者が必要と認める資料及びデータ

2 受注者は、発注者が前項の資料の返却を求めたときは、速やかに返却しなければならない。

（業務カルテの作成及び登録）

第15条 受注者は、調査設計業務実績情報サービス（TECRIS）入力システムに基づく業務カルテを作成し、発注者の確認を受けた後にオンラインにより、次の各号に掲げるデータの区分に応じ、当該各号に定める期間までに提出しなければならない。

- (1) 受注時登録データ 契約締結後10日以内（日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び12月29日から翌年1月3日までの日（以下「日曜日等」という。）を除く。）
- (2) 完了時登録データ 業務完了後10日以内（日曜日等を除く。）
- (3) 変更時登録データ 登録データの変更のあった日から10日以内（土日祝日

及び年末年始を除く。)

- 2 受注者は、調査設計業務実績情報サービス（TECRIS）入力システムへの業務カルテの登録後、（一財）日本建設情報総合センター発行の登録内容確認書を発注者に提出しなければならない。

（条件変更等）

- 第16条 受注者は、仕様書に明示されていない履行条件について予期することのできない特別な状態が生じたと判断したときは、速やかに発注者にその旨を通知し、本仕様書の変更について、協議するものとする。

（履行期間の変更）

- 第17条 受注者は、履行期間に係る延長の変更を請求するときは、延長理由及び延長日数の算定根拠を記載した書類、修正した業務工程表その他必要な資料を発注者に提出しなければならない。

（納入期限及び納入場所）

- 第18条 本業務の納入期限（検査期間を含む。）及び納入場所は、次のとおりとする。

- (1) 納入期限 令和8年3月27日（ただし、第3章及び第4章の規定により作成した3D都市モデル及びユースケース開発に関するデータの納入期限は、令和8年1月16日とする。）

- (2) 納入場所 香芝市都市創造部都市計画課
（検査）

- 第19条 受注者は、本業務における成果品について発注者の検査を受けなければならない。

- 2 発注者は、成果品の検査の結果、仕様書、準拠法令又は協議にて決定し、又は変更した事項等との相違があると認めた場合には、期日を定めて受注者に成果品を再提出させることができる。この場合において、再提出に要する費用は、受注者の負担とする。

第2章 業務概要

（作業概要）

- 第20条 本業務における作業概要は、次のとおりとする。

No.	作業名	数量	備考
1	第3章 3D都市モデル整備		
	拡張製品仕様書作成	一式	
	3D都市モデル作成	一式	
	オープンデータ作成	一式	
	メタデータ作成	一式	

		関連データセット作成	一式	
		PLATEAU VIEW、G空間情報センター等への搭載調整	一式	
2	第4章	ユースケース開発	一式	
3	第5章	成果品取りまとめ		
		データセット等の取りまとめ	一式	
		業務報告書の作成	一式	

第3章 3D都市モデル整備

(定義する地物とLOD)

第21条 整備する3D都市モデルに含むべき地物及びそのLOD (Level Of Detail) は、次のとおりとする。

No.	地物	LOD0	LOD1	LOD2	LOD3	LOD4	備考
1	建築物		○	○			
2	交通 (道路)		○		○		
3	都市計画決定情報		○				
4	土地利用		○				
5	災害リスク		○				
6	地形		○				
7	橋梁		○		○		

○：3D都市モデルに含むべき地物及びLOD

(拡張製品仕様書作成)

第22条 受注者は、発注者が実施するユースケースの実現のために必要となる地物型、LOD及び属性情報を整理し、香芝市版の3D都市モデル製品仕様書（以下「拡張製品仕様書」という。）を作成するものとする。

2 拡張製品仕様書は、3D都市モデル標準作業手順書に従って作成された3D都市モデル標準製品仕様書に準拠したものとする。

(3D都市モデルの作成)

第23条 受注者は、3D都市モデルを前条第1項の規定により作成された拡張製品仕様書に適合するように作成するものとする。

2 前項の規定により作成する3D都市モデルの作成手順は、次に掲げる工程を含むものとする。

- (1) 作成制限施設の確認
- (2) 作成計画の立案
- (3) 原典資料の収集
- (4) データ作成と品質評価

(作成の対象及び数量)

第 2 4 条 作成する 3 D 都市モデルの対象及び数量は、次のとおりとする。

No.	地 物	数量（上段：範囲、下段：面積、延長、又は個数）				
		LOD0	LOD1	LOD2	LOD3	LOD4
1	建築物		香芝市全域 約 24. 26km ² 約 32, 000 棟	別図 1		
2	交通（道路）		香芝市全域 約 320km		別図 2 約 1km	
3	都市計画決定情報		香芝市全域 約 24. 26km ²			
4	土地利用		香芝市全域 約 24. 26km ²			
5	災害リスク		香芝市全域 約 24. 26km ²			
6	地形		香芝市全域 約 24. 26km ²			
7	橋梁				別図 2 3 か所	

（オープンデータ等の作成）

第 2 5 条 受注者は、オープンデータ用の 3 D 都市モデル及びオープンデータ用の 3 D 都市モデルに対応した拡張製品仕様書を作成するものとする。

- 2 オープンデータ用の 3 D 都市モデルは、第 2 3 条第 1 項の規定により作成した 3 D 都市モデルを加工して作成するものとし、当該 3 D 都市モデルに含まれる全ての地物型を含むものとする。
- 3 オープンデータ用の 3 D 都市モデルの地物に付与された属性情報については、発注者と受注者との協議により、オープンデータとする項目を決定するものとする。

（メタデータの作成）

第 2 6 条 受注者は、第 2 3 条第 1 項の規定により作成した 3 D 都市モデル及び前条第 1 項の規定により作成したオープンデータ用の 3 D 都市モデルについて、メタデータを作成するものとする。

- 2 メタデータの仕様は、第 2 2 条第 1 項の規定により作成した拡張製品仕様書に従うものとし、メタデータに記載する内容は、3 D 都市モデル標準作業手順書に従うものとする。

（関連データセットの作成）

第 2 7 条 受注者は、関連データセットを作成するものとする。

- 2 関連データセットの仕様及び作成方法については、国土交通省が提示するものに従うものとする。

第4章 ユースケース開発

(ユースケース開発に関連するデータの作成及び整理)

第28条 受注者は、本業務の実施に当たり、香芝市の抱える課題を踏まえて整備した3D都市モデルデータを活用し、ユースケースを開発するものとする。

(ユースケース開発)

第29条 受注者は、「3D都市モデルを活用した災害リスク情報の可視化マニュアル」に基づき、時系列洪水浸水シミュレーションデータの作成を行うものとする。

2 PLATEAU VIEWに搭載する時系列洪水浸水は、国土交通省が公開している「浸水ナビ」等を活用し、葛下川を対象として、採用する破堤点1か所を発注者と受注者の協議により決定するものとする。

(ユースケース実証)

第30条 受注者は、発注者との検討協議（3回程度）について、3D都市モデルの活用検討に関連する説明資料の作成支援を行うものとする。

2 受注者は、発注者が指定する3D都市モデルビューワに洪水浸水推移のイメージや3D都市モデルを表示及び編集できる環境を整備するものとする。

第5章 成果品取りまとめ

(データセット等の取りまとめ)

第31条 受注者は、第22条から第26条までにより作成した3D都市モデル、オープンデータ用の3D都市モデル、各メタデータ及び各拡張製品仕様書を、3D都市モデル標準作業手順書に従い、取りまとめるものとする。

2 受注者は、第27条及び第4章により作成した関連データセット等を取りまとめるものとする。

(業務報告書の作成)

第32条 受注者は、3D都市モデル作成に収集し、又は取得したデータ及び拡張製品仕様書の決定に当たり想定したユースケースの作成方法及び手順、品質評価方法、品質評価結果等を取りまとめた業務報告書を作成するものとする。

2 受注者は、発注者の求めに応じ、3D都市モデルデータ及びユースケース実証したデータについて、国土交通省都市局からの問合せ等に係る対応について、適宜支援するものとする。

第6章 成果品

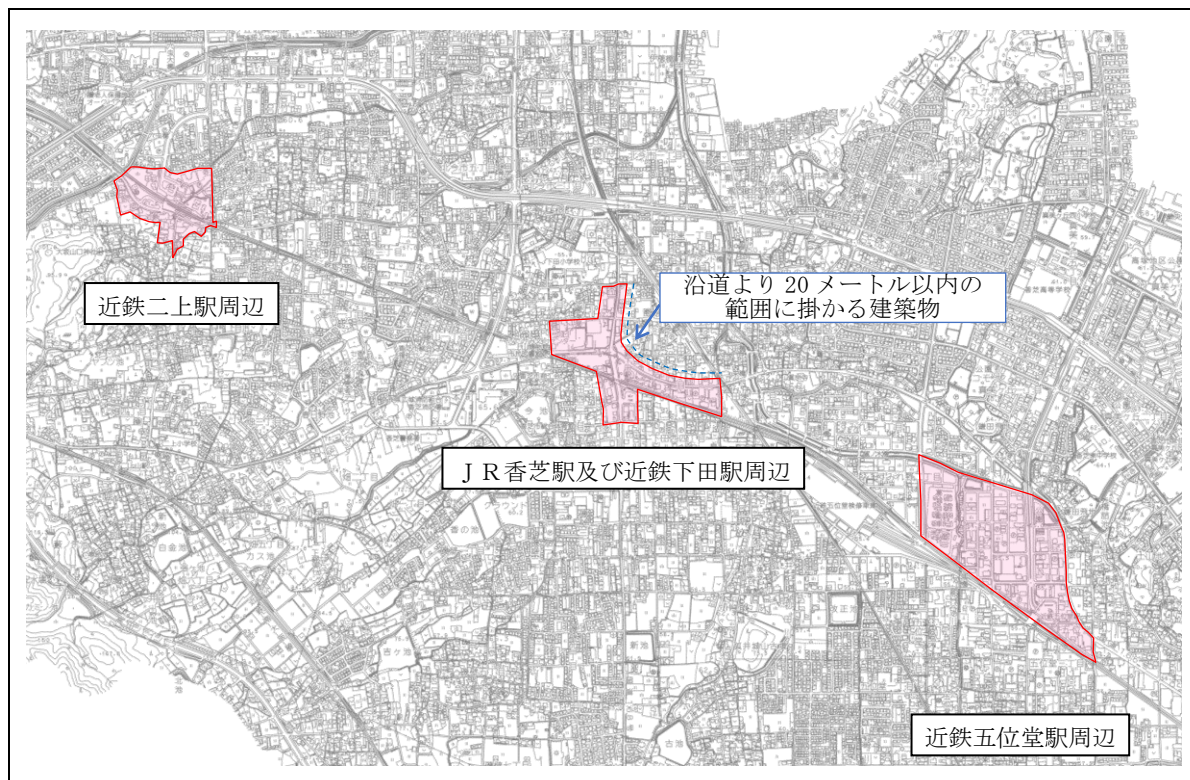
(成果品)

第33条 本業務における納入成果品は、次のとおりとし、業務に係る全ての電子データを外付けHDD等に格納し、納品するものとする。

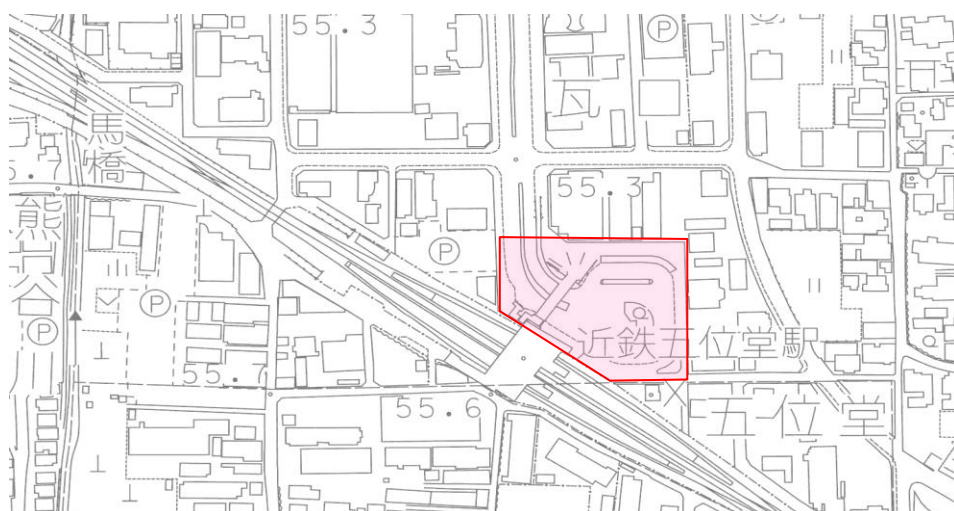
No.	成 果 品	数量	単位	備 考
1	3D都市モデル関連	1	式	
	3D都市モデル	1	式	
	コードリスト	1	式	
	XML S c h e m a	1	式	
	拡張製品仕様書	1	式	
	メタデータ	1	式	
	索引図	1	式	
2	オープンデータ用3D都市モデル関連	1	式	
	オープンデータ用3D都市モデル	1	式	
	コードリスト	1	式	
	XML S c h e m a	1	式	
	拡張製品仕様書	1	式	
	メタデータ	1	式	
	索引図	1	式	
3	関連データセット	1	式	
4	打合せ記録簿	1	式	
5	業務報告書	1	式	
6	その他受注者発注者協議の上必要とする資料	1	式	

- 2 業務報告書には、3D都市モデル作成に収集し、又は取得したデータ及び拡張製品仕様書の決定に当たり想定したユースケースの作成方法及び手順、品質評価方法、品質評価結果等を取りまとめるものとする。

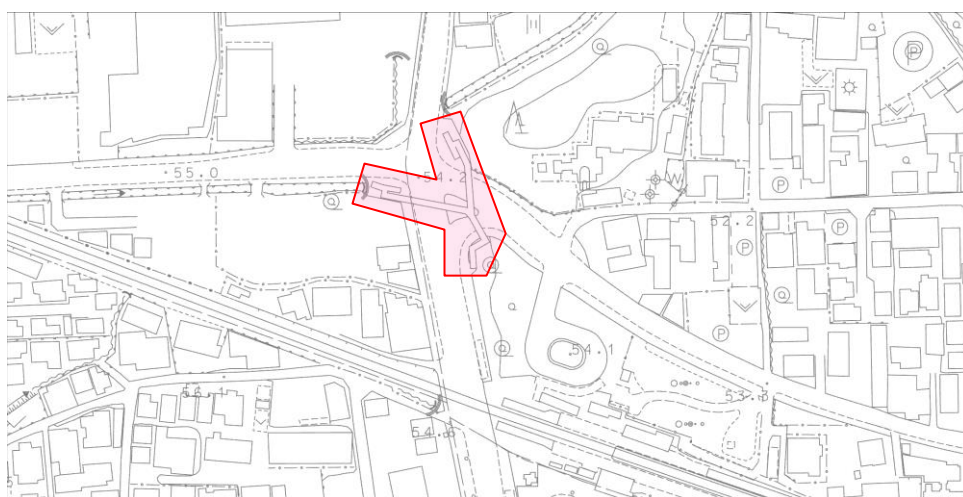
別図1 LOD2作成対象



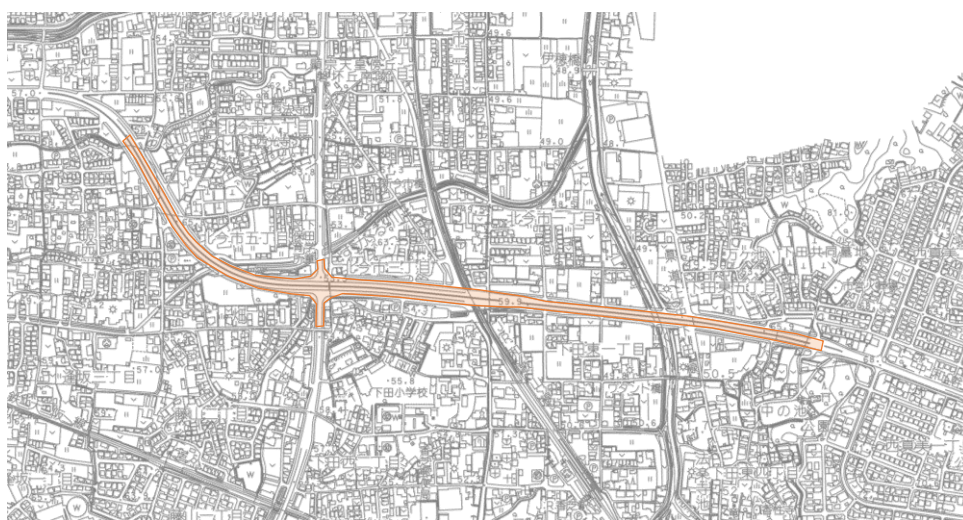
別図2 LOD3作成対象



近鉄五位堂駅北側



近鉄下田駅北側



中和幹線（高架橋部分）及び国道168号線との交差点周辺